



Q24

外部の専門機関と連携を 図るためには？

まずは
ここから



- ・本人及び保護者のニーズに合った専門機関を紹介します。
- ・日ごろからすぐ活用できるネットワークづくりを行います。

外部機関との連絡・調整により、ネットワークが有効に機能した事例を紹介します。

ユミさんは、自律学級に在籍する中学3年生です。1, 2年のころは不登校でした。帰宅後の指導や保護者への支援も必要です。学校だけでは対応が難しい部分を専門機関の協力を得ながらユミさんと家庭を支え、卒業に向けて指導を継続しました。

1年生

関係機関のネットワークをつくり、支援を依頼

ケース会議を開催し、障害者総合支援センターの支援が始まりました。散歩や図書館利用、調理活動により、以前よりも張りのある生活になりました。

ネットワークづくりの方法は

- 電話をする
- 直接出向く
- 学習会への参加

○ 協力を依頼するとともに、他機関も紹介していただきました。

- ・障害者総合支援センター
- ・保健所 ・病院
- ・福祉課 ・児童相談所
- ・在籍していた小学校
- ・地域の自律教育担当者会
- ・地元の養護学校 等

2年生

緊急ケース会議（関係機関が参加）開催

保護者の不安や精神的疲労の訴えから、校長判断で緊急にケース会議をお願いし、支援を行いました。

参加関係機関は

- 学校
- センター
- 児童相談所
- 福祉課

○ 福祉サービスを利用して、一晩親子別々に過ごすことになりました。

3年生

本人や家族を交えたケア会議（本人、保護者、関係機関が参加）開催

本人及び保護者を交えてケア会議を行いました。関係者が願いを十分に聴くとともに、関係機関が提供できる支援内容を直接伝えてもらいました。

会議の目的は

- たくさんの支援者を実感できる
- 進路・支援情報
- 個別の支援計画で継続支援を確認

○ 進路や支援にかかわる情報を提供しました。

- ・高等学校、養護学校高等部などの情報、通学方法
- ・夜間ホームヘルパーの活用や支援費制度
- ・医療とのかかわり方

卒業

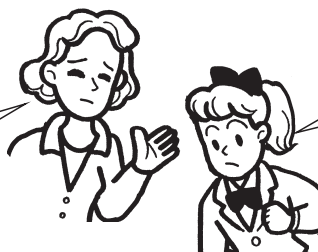


【キーポイント】 本人及び家族のニーズに基づき、具体的な対応が可能な外部機関と日ごろから連絡を取り合うことで、学校にはできない支援が提供されます。管理職の理解と応援も大きな後押しとなります。

● 1年生時の支援の実際

保護者

このままでは、
将来が心配で…。
相談にのってほ
しい。



ユミさん

友だちとうまくいかない。
学校に行きたくない。

本人の悩みや保護者の願いを受け、学校では、かかわってもらえそうな関係機関に電話をして支援が可能かを問い合わせたり、直接出向いて事情を説明したりしました。また、学習会があれば参加し、事例検討をお願いしていきました。名刺交換も、ネットワークづくりに役立ちました。

そんな中で、ユミさんへの支援が可能な機関がはっきりしてきました。

ケース会議に出席した関係機関

保健所，児童相談所，市町村福祉課，障害者総合支援センター

担任は事前に家庭のニーズや課題を確認し、ケース会議に参加しました。提供できる福祉サービスを家庭に紹介すると、障害者総合支援センターを中心とした支援を選択されました。不登校は継続するものの、ユミさんの生活への取組が変わっていきました。

● 2年生時の支援の実際

母親の将来に対する不安はなくなりませんでした。精神的な負担が増し、担任に親子関係に関する深刻な相談がありました。学校長の判断で、関係諸機関によるケース会議がその日の内に開かれ、福祉サービスを利用して、一晚、別々に過ごして親子がお互いのことをじっくり考える時間をつくることになりました。母親の訴えから、わずか4時間で支援の方向が決定しました。

● 3年生時の支援の実際

3年生になり、本人及び保護者の進路や将来への不安が、再び強くなってきました。そこで、本人や保護者の気持ちを関係者が理解するとともに、本人や保護者に支えてくれる人がたくさんいることが実感できるように、本人や保護者を交えてのケア会議を行いました。

関係機関からは、高等学校や養護学校高等部などの情報や通学方法、夜間のホームヘルパーの活用や支援費制度といった福祉制度、医療とのかかわり方等、本人や保護者のニーズに寄り添った意見が出されました。ユミさんも、たくさんの意見を聞き、本人なりに安心できたようです。

この学校では、関係者による会議を「ケース会議」、本人及び保護者が加わって行う会議を「ケア会議」として使い分けています。最近は「ケア会議」と呼ばれることが多くなっています。

ユミさんへの支援は、中学校在籍中のみでなく、卒業後も個別の支援計画に基づき、本人及び保護者のニーズに応じた支援が継続しています。